

畜産ネットワーク ちば

2014年9月17日

第31号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K & T千葉ビル3階
発行人 森 英介

第8回千葉県畜産フェア

入場無料

10:30~15:00

会場／船橋競馬場

電車 京成「船橋競馬場駅」下車 徒歩5分
JR「南船橋駅」下車 徒歩10分

車 花輪I.C.から車で1分/駐車場有
(840台・当日無料)



はしご車や乗馬など普段は出来ない貴重な体験ができるコーナーや、焼肉、牛乳、はちみつなど地元千葉県産の「美味しいもの」を味わえる店舗がいっぱい



千葉の畜産を“食べよう”“話そう”“知ろう”



畜産物・農産物の販売

豚・牛焼肉、豚しゃぶ、焼鳥、牛乳・乳製品、卵・厚焼玉子、スイーツ、はちみつなど千葉県内でとれた農畜水産物を販売。

畜産フェア大抽選会

畜産フェア内のお店でお買い上げ毎にもらえる抽選券もしくはスタンプラリーチャレンジで豪華畜産品等が当たるチャンス！！

販売や抽選など、時間内に終了・売切の際はご容赦ください。出展する店舗の配置については次の頁へ！

★同時開催★

ふれあい広場

騎手サイン会、乗馬体験、はしご車体験など。

ダートランニングフェスタ

普段は人が入ること
ができない船橋競馬場
のダートコースを走り
ます。参加チームへ副
賞として県畜産物が贈
呈されます。



主 催

(公社) 千葉県畜産協会
千葉県畜産物消費拡大推進協議会
千葉県畜産フェア実行委員会

後援
千葉県
船橋市

協

千葉県酪農業協同組合連合会	千葉北部酪農業協同組合
全国農業協同組合連合会千葉県本部	ちは畜産レディースネットワーク
千葉県農業共済組合連合会	房総パーク販売促進協議会
ナイスパークチバ推進協議会	マーガレットパーク研究会
千葉県食肉事業協同組合連合会	千葉県全日本畜産経営者協会
千葉県肉牛生産農業協同組合	(一社) 千葉県配合飼料價格安定基金協会
JJA東日本くみあい飼料(株)	NPO法人いきいき畜産らしさサポートセンター
千葉県家畜商協同組合	(公社) 千葉県獣医師会
(株) 千葉県食肉公社	千葉県肉牛肥育研究会
千葉県養蜂協会	千葉県卵業協会
(一社) 千葉県農業協会	食育ネット(株)
千葉酪農業協同組合	船橋市畜産協会
キリンビバレッジ(株)	千葉県牛乳普及協会
堀江ファーム	船橋市漁業協同組合
林SPF	チバザビーフ協議会
奈良養鶏	千葉県食肉消費対策協議会
卯の花牛	

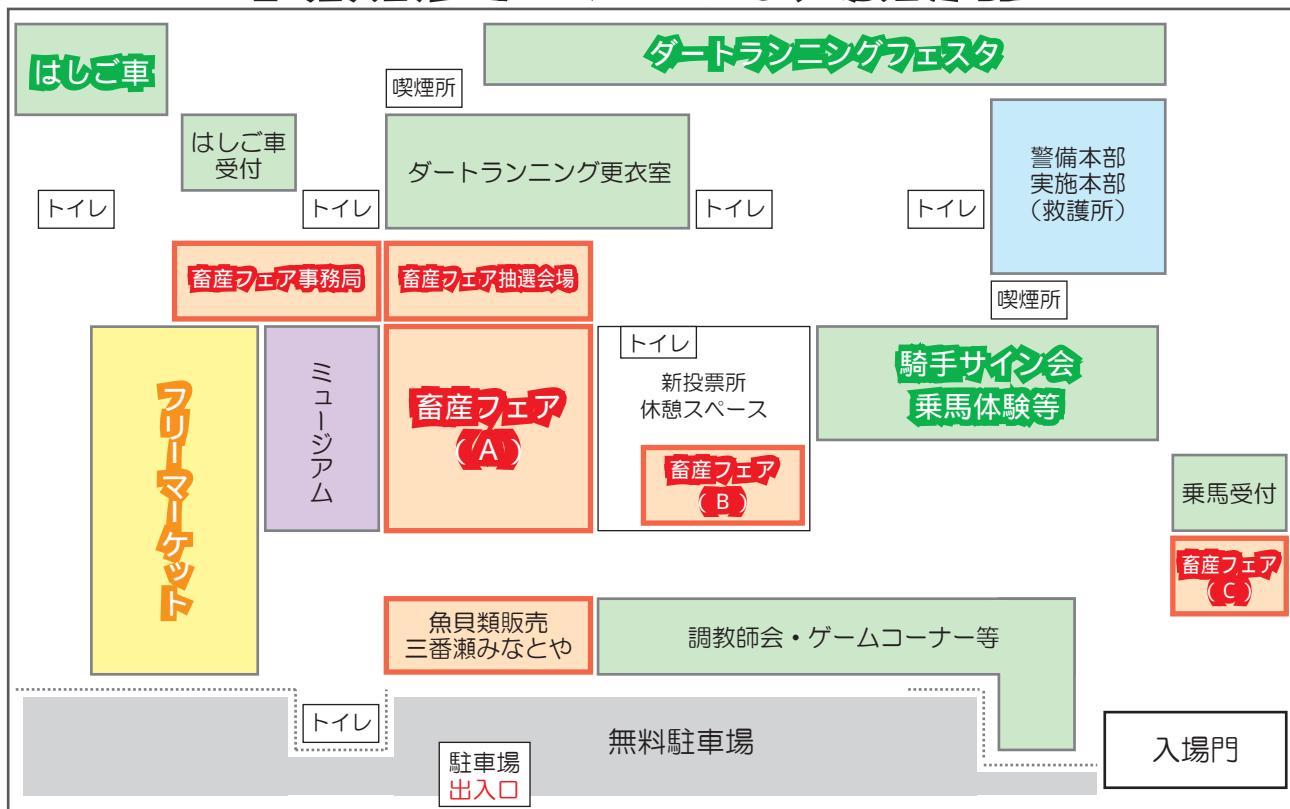
目

- ・千葉県畜産フェア……………(1)
- ・千葉県畜産フェア会場案内図……………(2)
- ・平成26年度定時総会開催……………(3)
- ・肉用牛損害賠償請求……………(3)
- ・NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信…(4)
- ・野生獣衛生体制整備緊急対策事業概要(新規)……(5)
- ・チバザビーフ協議会報……………(6)

次

- ・チバザビーフキャンペーン月間について……………(7)
- ・平成26年度千葉県肉豚共進会中止のお知らせ……………(7)
- ・NPC通信(ナイスパークチバ推進協議会)……………(8)
- ・肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業(10)
- ・肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン)事業……(10)
- ・ちは畜産レディースネットワーク会報……………(11)
- ・ふれあい体験教室開催……………(12)

千葉県畜産フェア会場案内図



場内詳細

(A)		(B)		(C)	
千葉県牛乳普及協会 [ミルクドーナツ試食]	千葉酪農業協同組合 [乳製品等販売]	林SPF [豚肉しゃぶしゃぶ販売]	千葉県食肉消費対策協議会 [パネル展示・国産肉PR] (株)シェフミートチグサ [焼鳥販売]	千葉北部酪農業協同組合 [八千代ビーフ 焼肉販売]	
食育ネット(株) [牛タンつくね串等販売]	キリンビバレッジ(株) [ジュース販売]	千葉県養蜂協会 [国産はちみつ試食販売]	ちばフェルミエチーズ ネットワーク [手作りチーズ試食販売]	卯の花牛 [焼肉販売]	投票所(出入口)
若潮牛振興協議会 [若潮牛 焼肉販売]	房総ポーク販売促進協議会 [焼肉販売]	千葉県農業協会 [焼きいも販売]	マーガレットポーク研究会 [焼肉販売] 千葉産直ビーフ研究会 [しあわせ牛 焼肉販売]	ちば畜産レディース ネットワーク [ミルクくずもち試食]	投票所(出入口)
堀江ファーム [畜産加工品販売]				たんぽはうす [アイスクリーム販売]	
				千葉県卵業協会 [厚焼玉子・鶏卵販売]	

(A)

(B)

(C)

■はスタンプラリー実施店舗です

(B)		(C)	
千葉県牛乳 普及協会 [骨密度測定]	NPO法人 いきいき畜産 サポートセンター [畜産何でも相談]	ナイスポークチバ 推進協議会 [畜産展示物]	千葉県畜産課 [スタンプラリー] [畜産展示物]
千葉県馬事 振興協議会 [冊子配布]	船橋市畜産協会 [牛ふんたい肥 無料配布]		

平成26年度 定時総会開催

平成26年6月23日、千葉市・プラザ菜の花において、当協会の平成26年度定時総会を開催し、平成25年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録の承認についての他2議案について承認されました。

平成25年度は、東日本大震災等の未曾有の大災害から丸2年が経過し、やや落ち着きを取り戻した感もありましたが、いまだその爪痕を様々な面で引きずっている状況にありました。

それに加え、飼料の高止まり、畜産物価格が低迷する中、急激な円安による輸入飼料、原油、生産資材等の暴騰も加わり、畜産経営は危機的状況にありました。

更に、年度末の豪雪被害や全国的なPEDの蔓延、EPAやTPP等の国際貿易の先行き不透明・不安感、消費税率のアップも控え、畜産経営者

= 公益社団法人千葉県畜産協会 役員名簿 =

の混迷は深まるばかりでした。

このような状況にあって、当協会は平成25年4月1日に「公益社団法人」へ移行、その社会的使命・役割を十分に認識し、畜産経営対策や家畜・畜産物の衛生対策、飼養管理や経営技術等生産性の向上、畜産及び畜産物への理解醸成・消費拡大事業等、様々な事業に取り組んでまいりました。

また、平成25年度においても引き続き東京電力への賠償請求を千葉県肉用牛損害賠償請求団体の事務局として、生産者、関係機関・団体等との連携・協力を得ながら円滑な事務処理に努めてまいりました。

なお、補助事業や委託事業等の減少のため協会運営が極めて厳しいことから、職員の削減及び給与削減の継続等運営経費の節減や事務の効率化に努めてまいりました。役員改選の結果は表のとおりです。（総務課 武田）

役職名	氏名	所属団体・役職名等
会長	森 英介	一般社団法人千葉農林水産統計協会 会長
副会長	奥澤捷貴	千葉県酪農農業協同組合連合会 代表理事会長
副会長	磯野光彦	全国農業協同組合連合会千葉県本部 県本部長
副会長	明智忠直	旭市 市長
副会長	斎藤康廉	千葉県農業共済組合連合会 家畜部部長
副会長	堀江光洋	富里市農業協同組合 養豚部
専務理事	新城恒二	学識経験者
理事	松木英明	千葉県農林水産部畜産課（学識経験者） 課長
理事	星野俊一	千葉県肉牛生産農業協同組合 代表理事組合長
理事	石神嘉明	ちばみどり農業協同組合 常務理事
理事	佐藤義男	かとり農業協同組合 指導経済担当常務
理事	山根 晃	公益社団法人 千葉県獣医師会 会長
理事	石井 裕	南房総市 市長
理事	蜂谷良一	千葉県家畜商協同組合 理事長
理事	平野拓歩	ナイス・パーク・チバ推進協議会 会長
理事	島田栄雄	干鴻種豚組合
理事	北川富基	千葉県鶏卵販売農業協同組合（学識経験者）
代表監事	中村正博	千葉県農業協同組合中央会 専務理事
監事	斎藤昌雄	千葉市畜産協会 会長
監事	伊藤富治	一般社団法人千葉県配合飼料価格安定基金協会 理事長

肉用牛損害賠償請求

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会
会長 山崎巖

平成25年10月21日に行った第10次肉用牛損害賠償請求をもって、肉用牛の逸失利益分の賠償請求が終わり、現在、検査費用の賠償請求を行っております。第12次までの支払いが完了し、平成26年8月27日付けで第13次請求を行いましたので、併せてお知らせいたします（表参照）。

確定済	第11次	請求対象期間：平成25年9月～12月 補 償 金 額：14,088千円 請 求 者 数：93名（164名） 最 終 支 払 日：平成26年8月8日
	第12次	請求対象期間：平成26年1月～3月 補 償 金 額：6,091千円 請 求 者 数：57名（164名） 最 終 支 払 日：平成26年7月22日
請求中	第13次	請求対象期間：平成26年4月～6月 請 求 金 額：7,850千円 請 求 者 数：66名（164名） 請 求 日：平成26年8月27日

支 援 団 体

千葉県家畜商協同組合、千葉県肉牛生産農業協同組合、
千葉県配合飼料価格安定基金協会【千葉県全日本畜産経営者協会】、
一般社団法人千葉県農業協会（肉用牛部会）、
株式会社千葉県食肉公社、横芝光町（東陽食肉センター）、
県南畜産処理事業協同組合（南総食肉センター）

なお、検査費用については、平成26年9月1日以降も当面の間支払われることになっていますが、請求方式の変更等について東電から提案されているところです。請求方法や請求期間、請求時期等が決まりましたら、速やかにご案内いたしますので、ご準備をお願いいたします。

また、第14次請求につきましては、これまで同様の方式により平成26年7月～9月の3ヶ月分を対象として行いますので、各窓口団体指定の指示により提出をお願いいたします。（事務局 武田）

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会
(事務局:公益社団法人千葉県畜産協会)

担当:山田・新城・武田

TEL:043(241)1738 FAX:043(238)1255

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1.. 平成26年度通常総会及び第1回畜産研修会の開催

平成26年度通常総会が5月28日(水)午後1時30分から千葉市中央区「千葉市生涯学習センター(メディアエッグ)」に於いて会員総数75名のうち、本人出席37名、委任状26名、来賓13名の出席を得て、開催されました。

高梨副理事長の進行により、松田理事長挨拶、来賓として千葉県農林水産部畜産課川村主幹、公益社団法人中央畜産会(中畜)宮島常務理事、公益社団法人千葉県畜産協会(畜産協会)新城専務理事の祝辞をいただき、後、理事長を議長に選任し、1号議案平成25年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録の承認、第2号議案平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認、第3号議案平成26年度会費について審議がなされ、すべての議案は原案通り承認可決されました。

平成26年度は本NPO法人として活動を開始してから8年目に入ることから、専門部会に重点を置いた活動を積極的に推進すると共に、畜産協会の指導の基に農場HACCP構築やエコフィードコーデネーター設置事業や発酵TMRの調査研究、6次産業化の普及推進や生産者と消費者、学校等との交流事業に参加し、消費者への畜産理解と消費拡大を推進するほか、児童生徒を対象に家畜と触れ合う情操教育の場を提供することとしています。

また、総会終了後は引き続き千葉県農林水産部畜産課松木課長が講師となり「千葉県畜産の現況と課題」をテーマに講習会を開催しました(出席者47名)。千葉県が置かれている状況がよく理解でき、わかりやすい有意義な講習会でした。(事務局 薫田)

2.. 役員会

6月27日(金)午後2時から畜産協会会議室において千葉県農林水産部畜産課川村主幹、畜産協会新城専務をお招きし、26年度事業計画、各部会活動計画、会員加入促進等について協議しました。

(1) 平成26年度事業

今年度は畜産農家や畜産協会等の関係団体への支援を積極的に取り組んでいくものの、その活動は各部会を中心となって企画・立案・実施する。また、ホームページの充実を図るとともに会員の加入促進、寄付のお願い等により広く活動を広げ県内畜産業の振興に寄与することとなりました。

(2) 各部会の活動

- ① 企画部会(米倉部会長) : NPOは特徴ある畜産物をネット販売するシステムを構築して、その紹介手数料を事務費として畜産振興を支援したい、等々の意見交換がなされた。
- ② 生産振興部会(内田部会長) : HACCP取組農場を消費者に紹介する活動や生産履歴についてHACCPを掲載するなどの消費者交流を通じて販売販路の拡大を図りHACCPの普及推進につなげていくことがないと普及が難しいのでは、との議論があった。
- ③ 衛生環境部会(唐仁原部会長) : 今年度も引き続き畜産協会の要請に基づきHACCPの構築を支援していく。現在、主に指導現場で活動頂いている指導員は、池田、計良、唐仁原、石崎、渡辺、見学、三宅、加藤、薰田等9名で、認証6農場(酪農1、養豚2、採卵鶏3)の支援に取組む計画です。
会員で農場HACCP指導員になり農家の支援をしたい方は是非事務局へご連絡下さい。
- ④ 調査研究部会(高梨部会長) : エコフィードコーデネーター設置事業や発酵TMRの調査研究への協力、野生獣衛生体制整備緊急対策事業(H26年度新規事業)についても畜産協会の要請に基づき積極的に支援していきたい。

(3) 会員の加入促進

畜産に関する機関や関係団体等の退職者等に勧誘する通知文書を発送して、より多くの賛同者を募る。また、会員・役員一人一人が知人や賛同いただける方に声をかけていただき会員増を図るとともに、情報の共有化を図っていく。

これからも、色々な情報を提供して行きたいと思います。皆様方の御意見・御支援・御協力をお願いします。

第1回 農場HACCP研修会の開催(案内)

- 1 日時: 平成26年9月25日(木)午後1時30分~
- 2 場所: 旭市役所干潟支所 会議室
- 3 研修会(1)演題1 農場HACCPの概要について(60分) 講師 見学一宏
(2)演題2 農場HACCP構築の実務について(60分) 講師 計良伸行
(3)パネルディスカッション(30分) コーディネーター 朝日光久

第2回 農場HACCP研修会の開催(案内)

- 2回目の研修会を受講した方は中畜主催の農場HACCP指導員研修会3日間の初日を受講したと見なされる研修会と位置づけられました(中畜からの依頼)。
- 日時: 11月初旬(10時~17時)
- 場所: 千葉市内 (詳細は未定)

鳥インフルエンザを想定した防疫演習(案内)

畜産協会は県畜産課と一緒に、生産者や支援者を対象とした防疫演習を計画しています。NPO会員の参加もよいとのことですので、関心のある方は是非この機会にご参加ください。開催10月29日・場所等は未定です。開催案内がありましたら追ってご連絡します。

6次産業化への支援活動について

6次産業化を希望する畜産関係者は多いのですが、新商品の販売等で大掛かりに取組む農家は少ない状況です。昨年度県の6次産業化公募事業を通じ養蜂農家のネットワークの構築、新商品の開発等に取組みへの支援の一助を担うことができた、新商品開発がなされました。

8月20・21日東京ビッグサイト「第9回アグリフードEXPO」において新商品(8種類)の試食商談会が実施され、この新商品が出展されました。大変評判がよく多数の商談があり、新商品の市場性が高いことが確認できました。8月に6次化法認定の申請を済ませ、今後はレストラン、加工施設の建設工事に着手する予定です。皆様もぜひ館山に来たらご支援方お願いいたします。

◎入会申込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております。

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局((公社)千葉県畜産協会内)

TEL:043-241-1738 FAX:043-238-1255 [正会員77(内、団体11) 賛助会員2(団体)]

野生獣衛生体制整備緊急対策事業概要(新規)

野生獣衛生体制整備緊急対策事業は公益社団法人中央畜産会衛生指導部事務局の家畜衛生対策推進協議会が事業実施主体となり、公益財団法人全国競馬・畜産振興会の補助を受けて、今年度から3年間事業として取組んでいます。

事業背景としては中山間地域を中心に野生獣畜による農作物被害が深刻化し畜産現場においても飼料の盗食等による被害が増大する一方家畜伝染病の伝播拡散、人畜共通感染症の浸潤拡大等飼養衛生管理が懸念されています。よって、野生獣(イノシシ・シカ)について衛生実態を把握し、飼養衛生管理に関する資料の作成・普及を図るため、衛生関係者、野生獣関係者等の情報交換及び家畜伝染病の侵入防止対策を促進し、もって安全な獣肉利用化促進することを目的としています。

事業の最終目標は畜産関係者、野生獣関係者、食品衛生関係者間の情報交換等ネットワークの構築と家畜伝染病の侵入防止対策の促進と獣肉利用の促進、地域ぐるみの野生獣被害防止対策の推進に寄与、畜産経営の健全な発展と中山間地域の活性化に資することとしています。

本会はその中の野生獣衛生地域対策推進モデル事業(全国で12県で実施)について事業主体と委託契約を結び取り組むこととなりました。

事業の内容(野生獣衛生対策推進モデル事業)

(1) 地域衛生技術連絡協議会の開催

地域の畜産団体等との連携体制の整備を図るとともに、効果的な衛生実態調査の検討等を行う(年3回)。

(2) 野生獣の衛生実態等調査

狩猟者、野生獣処理施設等との連携、協力を図り、捕獲野生獣の検査、材料の採取、検体の検査機関への送付、検査結果の取りまとめ等を行う。

調査対象野生獣:シカ及びイノシシ計20頭

調査対象内容:解剖検査(外貌・臓器等検査)、危害要因検査 E型肝炎(シカ)、大腸菌(0 157)、サルモネラ等6項目

畜産関係が主体となり野生獣のネットワーク構築、衛生実態調査に取組むのは初めてのことです。関係機関及び関係者のご協力をお願いいたします。(衛生指導課 奥住)

瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売
日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL : www.zenoaq.jp



チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。

1 「新生」チバザビーフ協議会設立総会開催

平成26年7月3日、マロウドインターナショナルホテル成田において、「新生」チバザビーフ協議会設立総会が開催され、千葉県・自民党県議会畜産議員連盟等関係者及び食肉関係者、生産者等併せて121名の出席をいただき、協議会規約の制定等6議案が上程され、いずれも原案どおり可決承認されました。

チバザビーフ協議会は、今までの千葉県銘柄牛団体主体の組織から生産者主体の組織へと生まれ変わり、千葉県の肉牛生産者の力を結束し、技術力の向上や組織的な販売活動などの取組みを通じて、県内牛肉のブランド力強化を図ってまいります。

なお、チバザビーフ協議会では、会員の連帯感及び市場における評価向上のため、東京都中央卸売市場食肉市場で開催される「東京食肉市場まつり」に平成28年度の参加を予定しております。この市場まつりを契機に、出荷頭数の拡大や県産牛肉の高品質化に向けた取組みなども併せて実施してまいります。

【チバザビーフ協議会 役員一覧】

<会長> 山崎 巖（匝瑳市）
 <副会長> 郡司 和昭（山武郡横芝光町）
 実川 治徳（旭市）
 <理事> 那須 幸一（佐倉市）
 宇井 正之（匝瑳市）
 土佐 英樹（銚子市）
 岩渕 義徳（旭市）
 宮澤 武志（旭市）
 向後 真（旭市）
 塙 正一（銚子市）
 <監事> 篠本 正治（旭市）
 石上 信幸（銚子市）

【専門部会】

平成28年度「東京食肉市場まつり」への参加に向けての準備や各種対策の検討を行う部会。

<委員> 伊藤 茂雄（旭市）
 熱田 寛司（匝瑳市）
 宮内 豊（銚子市）
 斎藤 茂樹（佐倉市）
 麻生 義一（夷隅郡大多喜町）
 関口 次敏（山武郡横芝光町）
 御子神正義（南房総市） 計7名

委員は上記生産者のほか、千葉県、千葉県畜産協会、千葉県家畜商協、千葉県肉牛生産農協、及び各銘柄牛団体事務局等により構成。（生産者委員と併せて約20名程度）

2 第2回チバザビーフ枝肉研究会開催

平成26年7月9日、東京食肉市場（株）において第2回チバザビーフ枝肉研究会が開催されました。

研究会には黒毛和牛28頭、交雑種22頭、計50頭の出品があり、和牛の部では宮澤武志氏、交雑の部では宇井敏一氏がそれぞれ最優秀賞を受賞されました。

今後の枝肉研究会及び共励会の開催日程については下記のとおりです。

期日	行事名
平成26年11月19日	第3回チバザビーフ枝肉研究会 出品頭数：50頭（予定）
平成27年2月23～24日	第4回チバザビーフ枝肉共励会（24日）・前夜祭（23日） 出品頭数：60頭（予定） 前夜祭：100名程度

チバザビーフ協議会(事務局:公益社団法人千葉県畜産協会)

担当:企画課 小倉 TEL 043-242-6333 FAX 043-238-1255

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 森久保薬品株式会社
<http://www.morikubo.co.jp>



チバザポークキャンペーン月間について



千葉県では、県産豚肉の知名度向上のため「旨さが多彩チバザポーク」をキャッチコピーにプロモーション活動を実施しています。

特に10月を「チバザポークキャンペーン月間」として、その多彩なおいしさを知っていたくための取組を展開し、本県の豚肉生産者と関係団体・企業が一体となった様々なイベントを行います。

《リビングen活フェア千葉2014～ハッピーenDo》

期日・場所: 9月30日・オークラ千葉ホテル(千葉市)

内 容: 終活(幸せな人生のエンディングを迎えるための活動)イベントの中で、豚肉の栄養についての情報提供とチバザポークのPR・試食を行います。

提供豚肉: 元気豚、恋する豚、坂東ケンボロー、ロイヤル三元

参加方法: 事前申込 不要

《チバザポークフェスタ2014》



期日: 10月1日(水)～31日(金)

場所: 下記のとおり

内 容: 下記レストランがチバザポークを使用した独自のメニューを提供します。

提供豚肉: 下記のとおり

参加方法: 事前申込 不要

- | | |
|--|--------------------------|
| ・シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル(浦安市): 千葉県産いもぶた | ・イクスピアリ(浦安市): 東の匠SPF豚 |
| ・東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート(浦安市): マーガレットポーク | ・京成ホテルミラマーレ(千葉市): 恋する豚 |
| ・オークラ千葉ホテル(千葉市): ダイヤモンドポーク | ・ホテルプラザ菜の花(千葉市): 林SPF |
| ・千葉ポートタワー(千葉市): サンライズ黒豚 | ・成田ビューホテル(成田市): かぶらきSPF豚 |
| ・成田東武ホテルエアポート(成田市): 房総ポーク | |

《千葉県畜産フェア(詳細別掲)》

期日・場所: 10月4日(土)・船橋競馬場

内 容: 県産畜産物のファンづくりと消費拡大を目的としてチバザポークの焼き肉・しゃぶしゃぶの販売を行います。

《アクアラインマラソンイベント会場における試食・販売》

期日・場所: 10月19日(日)・アクアラインマラソン ゴール会場(予定)

内 容: 来場者にチバザポークのPRと試食販売を行います。

提供豚肉: 房総ポーク・マーガレットポーク(予定)

参加方法: 事前申込 不要

この機会に旨さが多彩チバザポークを是非ご賞味ください。

問い合わせ先

千葉県農林水産部畜産課 043-223-2777

チバザポーク販売推進協議会 043-242-6333(千葉県畜産協会内)

なお、チバザポークの詳細については下記ホームページを参照ください。

ホームページアドレス

<http://www.pref.chiba.lg.jp/chikusan/chibazapo-ku/umasagatasai-chibazapo-ku.html>

平成26年度 千葉県肉豚共進会 中止のお知らせ

毎年9月～10月頃に実施している千葉県肉豚共進会は、県内PEDの発生により、養豚農家が防疫体制を徹底している状況下で、今年度の開催は困難であるとの認識から、関係機関等と協議し「中止」することといたしました。

なお、肉豚共進会は県内の豚改良に重要な事業である為、来年度については開催することで計画しております。(生産課 金杉)

N P C 通信

ナイスポークチバ推進協議会



1 「養豚農業振興法」成立・法として制定!!



一般社団法人日本養豚協会（JPPA）は、以前より我が国の養豚産業が国益にかなう産業であることを踏まえ、その振興を法律で規定してほしいと要請を続けてまいりました。

平成26年6月4日（水）衆議院農林水産委員会（坂本哲志委員長）、5日午後の衆議院本会議を通過した法案は、6月19日の参議院農林水産委員会（野村哲郎委員長）、翌20日の参議院本会議において賛成多数で可決されました。

これにより、JPPA念願の「養豚農業振興法」は、正式に法律として制定されたことになります。

これは、JPPAと各県生産者組織が連携し一丸となって“養豚”を法律として制定して頂けるよう積極的にお願いをし、自民党養豚議員懇話会



（会長：大島理森衆議院議員）の先生方がそれに応え、本法案を議員立法として提出頂けたおかげです。

JPPA会長は、「この法律は、養豚産業が国益にかなう産業として国に認められた証し。これを契機に全国の養豚生産者がより一層団結し、養豚産業の発展に尽力してくれることを期待している。今後は、この法律を軸として、養豚生産者が安定した経営を持続できるような取り組みを生み出すべくJPPAは活動を進め、後継者が養豚産業に誇りが持てるようにしていきたい。」と決意を新たにしました。

【振興法基本方針策定のためのパブリコメントを広く募集】

現在国（農林水産省）はこの法律の基本方針策定に向け、振興法第3条にある6項目に関するパブリコメントを広く国民からを募集しています。

ご意見を基にこの法律の骨格ともいえる部分（基本方針）を作る重要な時期に当たります。

我々生産者はこのことに関心を向けると共に、広く消費者へも声掛けをし、この法律の関心の高さを求めるためにもパブリコメントの提出（発信）をお願いいたします。

提出期限は、平成26年9月30日（火）で詳細は農林水産省のホームページあるいは当協議会にご照会下さい。

（☎043-241-3851）

第一条（目的）

この法律は、養豚農業が、国民の食生活の安定に寄与し、及び地域経済に貢献する重要な産業であること並びに食品残さを原材料とする飼料の利用等を通じて循環型社会の形成に寄与する産業であることに鑑み、養豚農業の振興を図るため、農林水産大臣による養豚農業の振興に関する基本方針の策定について定めるとともに、養豚農家の経営の安定、飼料自給率の向上等を図るための国内由来飼料の利用増進、安全で安心して消費することができる豚肉の生産の促進及び消費の拡大等の措置を講じ、もって養豚農業の健全な発展に資することを目的とする。

第三条（基本方針）

農林水産大臣は、養豚農業の振興に関する基本方針（以下単に「基本方針」という）を定めるものとする。

基本方針には、次に掲げる事項を定めるものとする。

- 1) 養豚農業の振興の意義及び基本的な方向に関する事項
- 2) 養豚農家の経営の安定に関する事項
- 3) 国内由来飼料の利用の増進に関する事項
- 4) 豚の飼養に係る衛生管理（以下「飼養衛生管理」という）の高度化に関する事項
- 5) 安全で安心して消費することができる豚肉の生産の促進及び消費の拡大に関する事項
- 6) その他養豚農業の振興に関し必要な事項

2 一般社団法人日本養豚協会（JPPA）総会開催・役員改選により新体制によるスタート



平成26年6月10日（火）東京飯田橋所在のホテルグランドパレスにおいて平成26年度通常総会は、豚流行性下痢（PED）が全国的にまん延し、いまだ沈静化がされない状況の中、生産者、関係者250名が参加し盛大に開催された。

議案の審議は予定された全議案が承認され新役員が選任された。

第1号議案：平成25年度事業報告並びに収支決算報告に関する件

第2号議案：平成26年度事業計画並びに収支予算に関する件

第3号議案：任期満了に伴う役員改選に関する件

三役及び千葉県から選出された理事

会長	志澤 勝	神奈川県
会長代行	平野 拓歩	千葉県
副会長	星 正美	栃木県
"	遠藤 啓介	岩手県
"	大迫 昭蔵	鹿児島県
"	松村 昌雄	埼玉県
"	阿部 秀顕	山形県
"	竹内 日出男	愛媛県
理事	北見 則弘	千葉県
"	菅谷 守	千葉県

3 平成26年度通常総会開催



豚流行性下痢（PED）の感染拡大から1ヶ月遅れの平成26年度通常総会が7月8日（火）、千葉市内のオーエクラ千葉ホテルにおいて135名が参加し盛大に開催された。PED感染防御の関係から入口に消毒マットを設置して来場者に消毒の徹底を図った。



開会に際し、平野会長から「総会がPEDの関係で遅れ、県下生産者に多大の被害を受け漸く沈静化の方向にある事から、一日も早く生産の復帰を図ることに加え、防疫強化を促した。また、養豚農業振興法が法律として成立し養豚農家の盾となるよう振興法を活かす活動が必要と出席頂いた皆さんのご指導、ご協力を願う」と挨拶。



予定された全議案（第1号議案：平成25年度事業報告・収支決算に関する件、第2号議案：平成26年度事業計画・収支予算に関する件、第3号議案：会費賦課徴収時期及び方法に関する件）は承認された。

総会終了後、記念講演として一般社団法人日本養豚協会顧問 塩田忠先生から「生産者が見えるトレーサビリティ」と題し開催。養豚の情勢から、今生産者が取るべき行動とトレーサビリティの必要性について講演された。



4 『消毒の日』を設定・・・生産者自らPED及び海外悪性疾病侵入防止

平成26年7月16日（水）千葉県は豚流行性下痢（PED）沈静化の方向を受け、今後の防疫対策について会議を開催した。PEDについては、発生が散発になっているが、再発のケースが他県でも見られている。



ワクチンはパーフェクトではなく、衛生環境が悪いと効果が期待できない可能性があるとし、今後の防疫対策として①ワクチン接種指導 ②「一斉消毒の日」設定により養豚農家及び関連施設の一斉消毒による方針を示し、関係機関に協力を呼びかけた。

毎月1日を「消毒の日」と定め、7つのチェック項目に従って一斉消毒を実施。

出入車両消毒の確認	立入者衣服の交換	消石灰の散布	踏み込み消毒層の点検
畜舎消毒	畜舎内外の整理・整頓	チェック表の提出	

協議会会員に対して、当面できることから徐々に実施していくことで消毒に対する意識を高めていきたい。

5 PED沈静化に向かう中、県の対応に対し御礼の挨拶



豚流行性下痢が、本県では3月27日発生が確認された以降、県北総地帯を中心に1111カ所の発生で40,243頭の死亡（7月18日現在）が報告されるなど大きな被害をもたらした。

今回PEDが漸く沈静化に向かう状況が見られる中で、消毒ポイントの廃止、県の提案による毎月1日を「消毒の日」として設定するなど、今後は消毒の徹底により生産者が主体性を持ってPED対策を図っていくことになった。

このような状況を踏まえ、長期に亘りPED封じ込めにご指導をいただいた県機関に対しお礼のため、畜産課長、農林水産部長室を訪問した。

6 農林水産省担当官との「養豚農業振興法」及び「PED対策」についての意見交換会開催



農林水産省では、一般社団法人日本養豚協会（JPPA）との協議の中で、農水実態調査との目的から7月30日（水）千葉県旭市を中心養豚関連施設及び養豚場を視察された。視察後、「養豚農業振興法」及び「PED対策」について生産者と意見交換会を開催した。2会場に分かれての意見交換では次の内容で意見が交わされた。（事務局 加藤）

養豚農業振興法に関する意見交換の内容		
国益にかなう養豚産業（自給率・食の安全・安心）	飼料米の生産と活用（保管・粉碎・配合）	エコフィードの活用による飼料自給率の向上
環境（悪臭）問題の検討	労働力（研修生・制度）の確保問題	農場作業効率化のためのロボット化
家畜共済制度について	牛並みの助成対応について	品種改良問題について
PED対策に関する意見交換の内容		
PEDのワクチンについて	馴致について	

肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

上記の事業については指定肉用子牛の平均売買価格が高いため、しばらく生産者補給金及び繁殖経営支援交付金の発動がありませんが、肉用子牛個体登録申込、販売及び保留等の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。(生産課 飯沼)

基準価格及び平均売買価格等

(単価:円/頭)

区分	品種	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
発動基準価格(肉用牛繁殖経営支援事業)	420,000	380,000	280,000	-	-	-
保証基準価格(肉用子牛生産者補給金制度)	329,000	300,000	215,000	128,000	195,000	
合理化目標価格((肉用子牛生産者補給金制度))	275,000	253,000	145,000	87,000	143,000	
平均売買価格	26年度第1四半期	558,400	479,200	301,800	145,600	299,300
	25年度第4四半期	542,500	459,200	278,800	153,500	322,500
	25年度第3四半期	538,900	447,000	320,400	144,900	333,500
	25年度第2四半期	494,600	427,500	209,400	131,600	285,300

肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン)事業

毎月払いが継続して実施されており、引き続き販売報告の漏れがないようお願いいたします。(企画課 小倉)

肥育牛補填金単価について【平成26年4・5・6月分】

(単価:円/頭)

区分	4月			5月			6月		
	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益(A)	903,422	548,088	342,950	890,895	551,634	350,951	874,532	538,408	352,541
生産コスト(B)	874,447	594,054	398,368	874,395	600,970	408,169	878,227	617,793	413,782
差額(C)=(A)-(B)	28,975	45,966	55,418	16,501	49,336	57,218	3,695	79,385	61,241
補填金単価(C)×0.8	-	36,700	44,300	-	39,400	45,700	2,900	63,500	48,900
補填金単価(積立金免除牛)	-	27,500	33,200	-	29,500	34,200	2,100	47,600	36,600

100円未満切り捨て

販売確認申出書は販売月の翌月の20日までに各事務委託先に提出(厳守)

出荷時には即家畜改良センターに転出届の手続きをして下さい。(届のない牛は補填金の対象外となります。)

乗遅れの補填金交付はしませんので漏れのないように注意して下さい。

全国の補填金価格の公表は販売月の翌々月の上旬となります。

補填金交付時期は販売月の翌々月の25日位を予定しています。



CHEF MEAT CHIGUSA Co.,Ltd

株式会社シェフミートチグサ

〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町210-5

TEL: 043-259-3705 URL: www.chefmeat.co.jp/



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第14号

モ～モ～フ～フ～コケコッコ～

千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。

活動記録

1 総会&向日葵の宴&情報交換会が開催

レディースネットワークの一大行事である「総会&向日葵の宴&情報交換会」が平成26年7月1日（火）、エストーレホテル（東金市）で盛大に開催されました。

本年度はP E Dの関係で通常開催より3週間程度遅れての開催となりました。

《総会》

会員19名（会員数59名）と来賓等含め33名の出席のもと、上程された3議案はいずれも可決承認されました。平成25年度の活動は、当会はじめての県外視察（横須賀市）をはじめ、会員を中心とした畜産ガールズユニット「CowMix」が「千葉県畜産フェア」において初ステージを飾るとともに、各種イベントでの活躍がございました。



(総会後記念撮影)



(向日葵の宴風景)

(情報交換会オープニング
：長嶋さん独奏)

また、多くの会員が参加しての畜産フェアでのミルクくずもちの実演・販売、会員提供の景品も大好評でした。それに、市原市栄養士会との情報交換会も有意義な会合でした。

《向日葵の宴》

エストーレホテルでの開催は3年ぶりとなります。料理には定評があり、堀江農場のローストハムや富里スイカ、新生酪農の乳製品も加わり充実した宴を楽しむことができました。

《情報交換会》

畜産協会 長嶋さんの「アルトサックス」の独奏をオープニングセレモニーとして堪能したのち、参加者全員からショートスピーチを頂戴しました。日頃思っていること、近況報告、仕事のことなど様々な情報に接することができ、充実した交換会となりました。

2 農山漁村いきいき研修会への参加



(農山漁村いきいき研修会)

日時：平成26年7月30日(水) 午前10時～午後3時

場所：千葉市民センター

主催：千葉県農山漁村女性団体ネットワーク（約180名参加）

レディース会員等13名参加、尾形副会長のハチミツ・ドレッシング等が好評販売されました。

伊藤真子さん、実川恵子さんらによる「CowMix」のパフォーマンスが大好評、オリジナルCDも好調な売上でした。

活動予定

1 平成26年度千葉県畜産フェアへの出展

日時：平成26年10月4日(土) 午前10時30分～午後3時 場所：船橋競馬場

今年も「ミルクくずもち」を実演・配布をおこないます。多くの会員のご参加をお願いいたします。

2 県外視察研修会

日時：平成26年11月11日(火) 午前8時(千葉駅前出発)～午後3時(サイボクハム出発)

埼玉県日高市「(株)サイボクハム」において、視察＆宴＆埼玉県の畜産女性ネットワークとの情報交換会を予定しております。

バスによる移動（鴨川～館山～千葉～日高市）となります。詳細は追ってご連絡いたしますが、スケジュール表へのチェックをお願いいたします。多くの会員のご参加方よろしくお願ひいたします。（事務局 新城）

☆ふれあい体験教室開催☆

平成26年9月7日、千葉県立花の丘公園（印西市）にて、消費者に畜産の生産現場や畜産の果たしている役割、県産畜産物に対する理解促進を図るため、親子手作りワインナー教室を開催しました。

体験教室へは13組28名の参加があり、美味しく出来上がったワインナーに大変満足しているようでした。ワインナー作りの後は、千葉県の畜産についてクイズ方式で楽しく勉強しました。

また、室外では房総ポークの生産者による、しゃぶしゃぶの試食販売が行われ、チバザポーク（房総ポーク）の取組状況を消費者にPRする場となりました。（総務課 梶屋）



= 地方競馬全国協会からのご案内 =

『地方競馬の馬主になりたい!』という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主の情報については、下記からもご覧になれます。
地方競馬サイト (<http://www.keiba.go.jp/>)
 問い合せ先：審査部登録課 TEL：03-3583-21



地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

「食の安全・安心」のための第1歩は、「法令遵守」であることを改めて認識してください。

部 署	TEL	FAX
総務・企画部	043-242-5417(代)	043-238-1255
	043-242-6333	
事 業 部	043-241-1738	043-238-1255
	043-241-1738	
	043-241-3851	